

『がん疼痛を有する肺がん患者に対するがん性疼痛看護認定看護師による  
同行訪問の現状』に関する患者様、ご家族の皆様へ

現在、医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び在宅医療等の充実が課題となっています。そこで、当院では、訪問看護師と共になん分野の認定看護師が在宅訪問するシステムを構築し、『がん疼痛を有する肺がん患者に対するがん性疼痛看護認定看護師による同行訪問の現状』という研究を行っています。この研究は、がん疼痛を有する肺がん患者に対して在宅移行後も継続した疼痛マネジメントを行うためにがん性疼痛看護認定看護師が訪問時に行った支援内容を明らかにし、在宅支援におけるがん性疼痛看護認定看護師の役割について検討することを目的としています。

<調査の対象となる患者様>

2014年7月～2015年3月末までの入院中に支持・緩和療法チームが介入し、在宅療養移行後に支持・緩和療法チームの認定看護師が訪問看護師と同行訪問を行ったがん疼痛を有する肺がん患者様が調査の対象となります。

<調査方法>

患者様のカルテの記録を基に調査いたします。利用するカルテ情報は、年齢、性別、介護度、退院前後の支援の状況、認定看護師が行った支援などです。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<研究期間>

2014年7月～2016年12月末

<患者様のプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報厳重に守られます。お名前、生年月日など患者様を特定できる情報が外に出ることが決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問合せ下さい。また、この研究の対象者となることをお断りになりたい患者様、ご家族の方も研究代表者までご連絡ください。各種データの使用を控えさせていただきます。ただし、学会発表や学術雑誌への発表後にご連絡を頂いた場合、使用中止はできません。

この調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

<問い合わせ先>

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター

看護部/支持・緩和療法チーム

武田 ヒサ (研究代表者)

TEL : 072-252-3021

FAX : 072-251-1372